

大阪府医師協同組合事業所内保育施設

アポロンキッズうえまち保育園

2025 年度 事業報告書



 大洋薬品大阪販売株式会社

保育事業部

## 2025年度 アポロンキッズうえまち保育園 事業報告書

### 1. 保育事業報告

開設3年目となる2025年度は、設置主体である大阪府医師協同組合の全面的な支援のもと、保育利用者状況において、昨年度に引き続き19名の定員を満たすことができた。さらに、地域の皆様向けの2026年度一斉入所においては、2次調整を待たず第一希望のみで募集定員を初めて充足することができた。中央区で唯一の事業所内保育施設である本園が、3年の時を経る中で地域の皆様方にその存在が認知され、評価をいただけたものであると深く感謝する次第である。

コロナへの対応が広く求められた結果、企業などの産休・育休制度が充実し、0歳児は家庭という社会的な風潮が広がっている。0歳児は家庭にて、1歳児から保育園へという流れの中で、0歳児の定員を減らさず、0・1歳児6名、2歳児7名を維持する中での定員充足である。この募集形態は、大阪府医師協同組合の事業所内保育施設として会員保護者のご要望に応え、その使命を果たすためのものである。さらに、在園児のほとんどは短時間ではなく標準時間利用であり、長い時間の保育となっていることから、事業所内保育施設の役割とともに、地域の皆様への保育の場としても、ご利用保護者の皆様方の必要性に貢献できているのではないかと判断している。

本年度、運営主体である大洋薬品大阪販売株式会社保育事業部は、子会社であるメディカルサービス株式会社上本町事務所内へ移転した。運営主体の所在が保育園と同一建物内となり、今まで以上に緊密な連携が期待できる。同一運営主体のキッズファースト JR 塚口保育園との月例連絡会や相互訪問をはじめとする交流を開始した。運営会社内の複数園が構築してきた保育資産を現場レベルでも共有することが可能となり、保育の向上に繋がった。この関連もあり、塚口保育園担当と同一の評価機関による初めとなる第三者評価を受審した。相互比較を含めて客観的評価による日々の保育実践の振り返りができ、今後取り組むべき課題と方向性が明確になった。

本園は市内中心部に立地する小規模保育園としては広く恵まれた施設設備を有しており、保育室内の砂場やホール、多目的室がある。これら設備を最大限に生かし、保育の質を飛躍的に向上させる目的で、本年度は20回の外部研修に参加し全職員で共有した。5種類の外部講師によるレッスンについても、子どもたちの個性や本園の特性に合わせての打ち合わせを重ねて、改善を行った。保護者視線に立ち、情報伝達の利便性と機能向上を主目的に保育管理システムを一新したが、前年度の取り組みをそのまま継続するだけでなく、常に進取の気概で子どもたちのさらなる成長と保護者支援の向上を目的に、あらゆる取り組みを今後も継続する所存である。

全体の利用者数は昨年度に引き続いて順調に推移している。利用動向を注視しつつ、保育士配置を細かく検討する中で、長時間保育を念頭においた環境の整備や、育児家庭支援の更なる充実が重要と考える。さらに、11月には大阪府医師協同組合主催で第1回教育セミナーを開催した。「絵本の読み聞かせから始める言葉の力の育成」を演題に、どなたでもご参加いただける地域貢献を含めた保護者支援である。1月の第2回は「読書の好きな子どもにするには」、3月の第3回は「自分を表現する意欲を持たせる国語力の育成」として開催し、一定の評価をいただいた。

また、何よりも重視している「安心・安全」の推進を設備面からも年次計画で整備している。AED（自動体外式除細動器）と防犯カメラ（玄関前）を昨年度設置したが、本年度はさらに南館オートロック前と駐車場をカバーする1階にもカメラを増設した。さらに、公道側保育室にスクリーンカーテンを新設し、視認性を確保しつつ防犯対策を進めることができた。いずれも大阪府医師協同組合による整備である。大阪消防振興協会が実施する普通救命講習Ⅲを、大阪府医師協同組合の皆様方とともに受講し、乳幼児に特化したAEDの使い方を含む心肺蘇生法を学んだ。

さらに、防災用非常食類や防災用品を新規追加購入して増備し、防災面からも「安心・安全」をさらに進めることができた。施設機能強化推進加算による補助金を活用した整備であるが、今後とも各種の助成金を最大限に活用する中で、保育の質をさらに高める努力を惜まず、子どもたちの育つ環境をさらに良いものにしていく所存である。

## 2. 保育内容

開設初年度はコロナ禍による感染防止対応による活動や行事の一部制限が加えられたものの、保育士を含む職員のマスク着用は継続しつつも子どもたちにとって本来あるべき計画を立案し、日々の保育を円滑に進めることができた。特に、開設間もない園でありながらも、他園での豊富な経験を有する人材によるチーム保育を推進し、充実した本園ならではの保育を展開することができたことは幸いであった。日々保育に携わるプロとしての目標に向けて仲間と共に研鑽を積み、子どもと共に職員も成長する喜びを体感できる結果、職員の満足度と定着率は極めて高い。

保育理念「みんなちがってみんないい」に賛同する各職員により、公立保育所や中・大規模私立保育園の良さを小規模園に集約させ、個別対応を生かした保育実践を推し進めた。さらに、手作りおもちゃを数多く取り入れることや、体系的な運動あそびを日々実践するなど、小規模保育園の弱点を強みに変えるチーム保育の雰囲気醸造できた1年であったことは、大きな成果である。

恵まれた園内施設を生かした運動あそびをさらに充実すべく、鉄棒やアスレチックソフトブロック等の器具類を本年度はさらに増やし、日々の成果を運動会で披露する方向性を打ち出し成果を挙げた。また、土付き野菜や加工済み食材を自ら手にして体感する食育を毎月実施し、自ら進んで食習慣への興味や関心を育てる点にも重きを置くことによって、食育指導の推進を図った。

また、英語・リトミック・ヨガ・手型足型アート・習字といった専門講師のレッスンは、本園の最大の特長のひとつである。これらの時間に保育士が積極的に関与し、日々の活動と連携させる方針を昨年度より打ち出した。これにより、昨年度は2歳児クラスで子どもたちの活動への意欲が増し、日々の子どもたちの生活への積極性として現れ、大きな相乗効果を得ることができた。本年度は1歳児0歳児クラスでも同様の好影響を日々の保育に生かした。9月の敬老会では、地域のお年寄りの皆様に子どもたちの作品を届ける機会を得て、有意義な交流ができた。

防災面では昨年度に引き続きマニュアル面からのゼロベースでの見直し充実を目指して全面改訂を継続し、ルクミー（教育 ICT ツール）を活用した園児引き取り訓練を実施するなど毎月の防災訓練に生かした。親子遠足や保育参観時にも園児と共に保護者が参加できる防災訓練場面を設定し、保護者層への啓蒙化に努めた。

### 3. 保育活動

#### (1) 保育園の運営

・所在地: 大阪市中央区上本町西3丁目1番7号 大阪府医師協同組合南館2階

・定員: 19名

0歳児クラス(はな組)…6名 1歳児クラス(つき組)…6名 2歳児クラス(ほし組)…7名

#### (2) 開園時間

開園時間: 午前7時30分から午後7時30分

保育標準時間: 午前7時30分から午後6時30分

保育短時間: 午前8時30分から午後4時30分

延長保育: 短時間/午前7時30分から8時30分 午後4時30分から7時30分

標準時間/午後6時30分から7時30分

#### (3) 休園日

日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)

#### (4) 職員配置(2026年3月1日現在)

常勤職員: 7名 園長(1) 主任(1) 保育士(3) 調理士[栄養士を兼ねる](1)

事務員/保育補助(1)

非常勤職員: 7名 保育士(5) 保育補助(1) 看護師(1)

嘱託職員: 2名 嘱託医(1) 嘱託歯科医(1)

#### (5) 延長保育利用者数実績

4月:3人 5月:6人 6月:5人 7月:3人 8月:5人 9月:1人

10月:6人 11月:2人 12月:11人 1月:6人 2月:7人 3月:3人

合計:63人

### 4. 保護者支援

#### (1) 保育参観・個人懇談

集団保育における子どもの様子を知り、園の保育内容の共通理解を図る目的を持ち実施した。ストーリーヨガというツールを使い、親子で向き合い、同じ時間と空間を楽しみながら過ごすことが目標にし、親子ヨガを6月に実施した。今年度は保護者向け資料も準備し、実際にその場になかった保護者への理解を得ることを目指した。参加した保護者には本年度も引き続き好評で、身体を動かす楽しみを体験できて良かった、子どもとの触れ合いを行う貴重な機会になった等、多くの好意的な感想が寄せられた。

また、一昨年度は希望者のみに実施した個人懇談であったが、昨年度より2歳児クラスは全員、0・1歳児クラスも期間を問わず希望者全員を対象として家庭との連携を深めている。その際、担任に主任や園長を必要に加えて対応した。提携園を含めた卒園後の進路相談については、複数回を重ねることにより、所期の目的を達成したと判断する。

## (2) 教育セミナーの開催(大阪府医師協同組合主催)

- ・第1回 「絵本の読み聞かせから始める言葉の力の育成」(11/20)
- ・第2回 「読書の好きな子どもにするには」(1/17)
- ・第3回 「自分を表現する意欲を持たせる国語力の育成」(3/21)

## (3) 外部機関との連携

中央区子育て支援室より、寄り添いサポーターの6回におよぶ来園指導を本年度も実現できた。開設初年度より同一の寄り添いサポーターにご担当いただく中で、子どもたちの健やかな成長を園とともに見守り、随時助言をいただいた。また、保護者支援の提案と助言を継続的に受けることにより、本園が目指すチーム保育のさらなる充実に寄与することができた。

本園は隣接する天王寺区との区域境に立地することから、中央区在住者より天王寺区在住者の利用が多い現状にある。所轄区域を越えて関係諸機関との連携を深める目的で、天王寺区子育て支援室の担当係長と情報交換を行う目的で面談を行った。事業所内保育施設であることを理解していただいた上で、天王寺区在住者への細かな対応が求められる場合の全面的な連携を構築することができた。

## 5. 保健衛生

- ・園児定期健康診断 2回
- ・園児定期歯科健診 1回
- ・園児身体測定 12回
- ・職員健康診断 1回  
(常勤・非常勤職員いずれも全員)
- ・職員インフルエンザ予防接種の推奨  
(本年度は園内での集団接種により実施)
- ・保育士、調理員腸内細菌検査 12回

## 6. 防災安全

- ・避難訓練 12回
- ・消火訓練 12回
- ・引き取り訓練 1回
- ・水害訓練 1回
- ・通報訓練 6回
- ・不審者対策訓練 2回
- ・防災設備等の保守点検
- ・消防署への協力、報告
- ・自主点検 12回

- ・法定点検
- ・非常用飲料水、食糧の確保、点検、喫食

## 7. 給食

- ・午前おやつ、昼食、午後おやつ                      ・延長保育時    おやつ（午後6時30分）
- ・給食提供業者による設定献立を、本園に合った独自の献立の一部変更して実施

## 8. 年間行事

- ・開設初年度のコロナ禍での人数制限や開催方法の全面的な見直しを行い、昨年度より新たな視点で行事計画を策定し実施した。
- ・年度当初に年間行事予定表を配布し、保育参観や親子遠足、土曜日に実施する行事（運動会・夏祭り）の保護者参加率向上を目指した。
- ・日々の送り迎えや行事時のマスク着用は任意としつつ、万一の感染症の拡大状況に応じた開催ができるよう、予め計画時に盛り込んだ。

## 9. 年間実施会議

- ・職員会議 月1回 園長・主任・副主任・保育士・調理士・事務員・看護師・保育補助
- ・給食会議 月1回 園長・主任・副主任・保育士・調理士・事務員・看護師・保育補助
- ・マニュアル研修 年1回 園長・主任・副主任・保育士・調理士・事務員・看護師・保育補助
- ・大阪府医師協同組合定例会 月1回 事務局長・事務局次長・総務課長・統括長・園長
- ・保育事業部定例会 月1回 園長・主任・事務員・統括長・保育事業部担当者
- ・大阪府医師協同組合全体会 年1回 保育園全職員・医師協内保育担当全職員
- ・中央区保育所連絡会 年1回 中央区役所保健福祉課・保健福祉センター・中央区各園長

## 10. 職員育成

- ・キャリアアップ研修（乳児保育）の受講を進め、昨年度からの研修計画受講を全て完了した。
- ・事故防止に繋がる安全管理研修関連の複数受講を推進し、AED やエピペン実習を受けることにより、大阪府医師協同組合事業所内保育施設として求められる体制強化を図った。
- ・各分野の保育の実践研修に分担して参加を開始し、全職員に共有することによる日々の保育への反映による保育内容の確認と充実を図った。
- ・事務職員が災害共済給付制度説明会を受講し、実務と運用両面から理解を深めた。
- ・保育や教育の専門的知識習得のための自主的取り組みを含め研修費用の園負担を継続し、研修面からの専門職としてのスキルアップに努めた。
- ・オンライン研修も活用しながら、20回の園外研修や講演会への参加が実現した。学びの機会が何よりも重要であるとの認識に立ち、次年度以降、さらに研修の機会を増やしていきたい。

2025年度 外部研修受講一覧

日付	研修名	主催者	参加者	参加
5/27	子どもと関わる方のための暑さ対策セミナー(OL)	大阪市気候変動適応センター	園長	○
6/27	人材育成とマネジメントを学ぶ ～一人ひとりが輝く環境づくり～	大阪市保育施設等職員研修	主任	○
6/28	普通救命講習Ⅲ	大阪消防振興協会	主任	○
7/7	大阪府保育所等の事故防止研修(OL)	大阪府	園長	○
7/9	安全管理研修(事故防止に繋がる保育を学ぶ)	大阪市保育施設等職員研修	主任	○
7/14	人権保育研修会(子どもの人権とアドボカシー)	公私幼保合同研修	主任	○
7/17	テーマ別研修 (児童虐待から考える～家庭理解を深める～)	大阪市保育施設等職員研修	主任	○
7/25	普通救命講習Ⅲ	大阪府医師協同組合 大阪消防振興協会	0・2歳 担任	○
8/7	小児気管支ぜん息とアナフィラキシーを含む 食物アレルギー	大阪市保健所管理課	園長	○
6/1～ 9/1	キャリアアップ研修 乳児保育(乳児保育の基本から実践まで)(OL)	CareRaku(キャリアラク) 厚労省ガイドライン準拠	0歳児 担任	○
9/4	タイムリー研修会(かがく遊び)	公私幼保合同研修	2歳児 担任	○
9/18	食の安全推進交流会 (食の安全および火災予防について)	JR西日本不動産マネジメント	園長	○
10/22	災害共済給付制度説明会	独立行政法人日本スポーツ 振興センター	事務	○
11/6	感染症やアレルギーの理解と対応 (子どもの保健研修)	大阪市私立保育連盟	主任	○
12/1	保育実践研修(創造的な表現活動)	大阪市保育施設等職員研修	1歳児 担任	○
12/19	タイムリー研修会(造形活動)	公私幼保合同研修	0歳児 担任	○
1/28	テーマ別研修 ("感情の発達"を学ぶ～赤ちゃんを中心に～)	大阪市保育施設等職員研修	2歳児 担任	○
1/14～ 2/4	初任主任保育士研修(OL)	こども家庭庁	主任	○
2/12	幼小接続推進フォーラム(園長等専門研修A)	大阪府幼児教育センター	園長	○
2/24	主体性を育む保育に活かせる絵本の選び方	大阪市保育施設等職員研修	主任	○

## 11. 施設整備

- ・災害時食料、飲料等の備蓄品目類の整備
- ・保育室用の遮音機能付き床暖カーペット、防音タイルカーペットの導入
- ・調乳室入口柵の設置
- ・AED（自動体外式除細動器）と防犯カメラ（玄関前・1階駐車場およびオートロック前）設置
- ・職員用冷凍冷蔵庫、電子レンジ、タブレットおよびPC増設（事務室・給食室・多目的室）
- ・保育室および調乳室収納棚類の増設
- ・玄関インターホンのワイヤレス子機（自動扉の開閉機能付き）増設

以上